



# 講演会開催趣旨

当協会は、先端加工機械技術に関する研究開発の助成、技術動向の調査研究、調査研究成果の普及等を目的として昭和55年に設立され、本年で33年目を迎えた財団法人です。

我が国のものづくり技術は世界最高レベルを維持しておりますが、今世紀の持続的経済発展を支える先進的で高度なものづくりを実現するためには、基盤技術である先端的加工機械およびその利用技術のさらなる進歩発展が必須であります。

そこで今回の講演会では、自動車部品や産業機械用部品など重要部品の製造を支えてきた鑄造技術について、近年、高品質・高付加価値化のために圧力・雰囲気制御が盛んに用いられていることに注目し、その新しい潮流、最新技術、加工例等を4名の講師の方々から紹介していただくことにしました。

これまでと同様に規模を大きくせず、参加者が講師とじっくり充実した質疑応答ができるようにするつもりです。各分野のものづくり技術、特に薄肉化、複雑形状化、一体化、大型化など要求の高い鑄造品に関心のある多数の方々のご参加を期待しております。

**後援団体：**(独)産業技術総合研究所、(一財)素形材センター、(社)日本鑄造協会、日本工業大学  
(順不同、依頼中を含む)

**協賛団体：**(一社)日本機械学会、(公社)精密工学会、(一社)日本塑性加工学会、(社)日本金属学会  
(一社)日本ファインセラミックス協会、(一財)製造科学技術センター

(順不同)

## 先端加工技術講演会

### 「高品質・高付加価値化を目指した鑄造技術開発の最前線」

プログラム (平成25年2月15日 金曜日) <予定>

13:30~13:35 「開会挨拶」

財団法人 先端加工機械技術振興協会 専務理事 松野 建一

13:35~14:20 「高品質・高付加価値化のための鑄造技術開発」

(独)産業技術総合研究所 先進製造プロセス研究部門 グループ長 岡根 利光

14:20~15:05 「産学官連携で開発した大型車体部品の製造プロセス」

早稲田大学 創造理工学部 総合機械工学科 教授 吉田 誠

15:05~15:20 休憩

15:20~16:05 「中間型を用いたアルミニウム合金の新高圧鑄造技術(REC)」

広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 副主任研究員 府山 伸行

16:05~16:50 「金属熔融積層造形技術の可能性」

株式会社コイワイ 専務取締役 小岩井 修二

16:50~17:00 「閉会挨拶・ご連絡」

財団法人 先端加工機械技術振興協会 専務理事 松野 建一

## 申込方法

裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、郵送、FAX、メール等で下記宛お申し込み下さい。お申し込み確認後、折り返し受理をご連絡いたします。(参加証は発行致しません。)

**参加費：**一般:7,000円、後援・協賛団体関係者:5,000円、当協会賛助会員:3,000円、学生:2,000円

**定員：**45名(定員になり次第締め切らせて頂きます。)

**申込先：**財団法人 先端加工機械技術振興協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-29 虎ノ門産業ビル

電話：03-3501-6701 FAX：03-3503-9697

E-Mail：info@amtda.or.jp URL：http://www.amtda.or.jp

**送金方法：**下記銀行振込みでお願いします。(振込手数料は、振込人をご負担下さい。)

銀行名：三菱東京UFJ銀行 虎ノ門中央支店

口座番号：普通 269900 口座名：財団法人 先端加工機械技術振興協会